

ついて記しました。当時私の体の不調から思った様に仕事が進まず、指導を頂いた齊藤先生始め当時の分光部の皆様に余計な御厄介を掛け乍ら、長焦点カメラの利点を生かした、内部コロナの微細構造を調べる等の計画を実行出来ず、中途半端なものになり申し訳なく思っています。猶此の測定結果は、報告書としてペルー地球物理学研究所に提出されて居ります。

お知らせ

「星図・星表めぐり」再版ができました。

日本天文学会編・誠文堂新光社発行の「星図・星表めぐり」は、初版発行以来多くの方々から好評のようで、たちまち書店の店頭から姿を消してしまっただけです。

そこで、初版時の誤りを正したり、新しい資料により内容を書き改めた再版を発行することになりました。

その再版が1977年9月25日付で発行されました。初版の時と同様に本会では取扱いませんが、書店の店頭がない場合は書店に申込むことによって入手することができます。(編集係)

研究会の主催者へお願い

最近各種の研究会が方々で勢力的に開催され、それぞれの分野で大きな成果が上っているようです。天文月報編集係では、これら研究会の席上でディスカッションされた、最新の情報を多くの諸者の方々に御報告できればと考えています。研究会開催の予告であれば3カ月位い前に予定が決っていれば月報誌上で会員諸氏に告知することができます。また、会の終了後に400字詰原稿用紙3~4枚程度にまとめたものを御送り頂ければ掲載することができるので都合です。(編集係)

学会だより

藤原賞受賞候補者推薦について

財団法人藤原科学財団より、第19回藤原賞受賞候補者を推薦されたい旨の依頼が学会あてにありました。適当な方がありましたら、庶務理事あてに2月15日までに御連絡下さいませようお願い致します。藤原賞はわが国科学技術の発展に卓越した貢献をされた方に賞2件(副賞金1千万円)が贈呈されます。

掲示板

東京天文台助手公募

東京天文台では本會観測所勤務の助手1名を公募します。専門分野は、シュミット望遠鏡による天文学の研究、観測・測定システムの開発などで、応募資格は大学院修士課程修了程度。応募者は履歴書、論文リスト及び別刷(共著の場合は分担した役割を明記すること)、研究計画、推薦書(他薦の場合)を〒181 三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台長あて、昭和53年1月15日までに御送り下さい。封筒に「助手応募書類」と朱書のこと。

東京天文台長 末元善三郎

1977年10月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	6,	31	6	6,	56	11	—,	—	16	5,	37	21	5,	34	26	4,	13
2	—,	—	7	7,	43	12	2,	56	17	—,	—	22	3,	44	27	4,	20
3	—,	—	8	—,	—	13	6,	42	18	4,	42	23	3,	20	28	2,	19
4	—,	—	9	—,	—	14	—,	—	19	5,	45	24	2,	11	29	4,	47
5	4,	35	10	—,	—	15	4,	47	20	5,	40	25	4,	19	30	4,	40
(相対数月平均値: 56.1)															31	5,	34

昭和52年12月20日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒112 東京都文京区水道2-7-5	啓文堂 松本印刷
定価 300円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 武蔵野 31局 (0422-31) 1359	振替口座 東京 6-13592